

## II. 一般社団法人 日本工作機械工業会の活動

### 1. 概 要

#### (1) 定時総会

2018年5月31日（木）、東京都千代田区のホテルニューオータニに於いて、第7回定時総会を開催し、会員99社中97社（うち書面または代理人による議決権の行使42社）が出席した。同総会では、飯村会長が議長となり、2017年度事業報告、同年度収支決算、2018年度事業計画案、同年度会費負担案、同年度収支予算案、役員選任について審議を行い、原案通り決議した。

総会終了後、同所において、呉 保寧氏（㈱現代文化研究所 首席主任研究員）による「中国自動車産業の最新動向」と題する講演会を開催した。

#### (2) 理事会

当会の事業執行機関である理事会は、理事会運営の原則に基づき、5月に決算理事会、7月、9月、11月に定例理事会、3月に予算理事会を開催し、事業報告案及び収支予算案、決算報告を始め、平成31年度税制改正要望、新規入会等について審議した。

#### (3) 委員会・研究会

各事業の遂行については、総合企画委員会、技術、経営、市場調査、国際、環境安全、見本市、輸出管理の8常設委員会に加え、2018年度は新たに選考委員会を設置した他、人材確保・周知研究会、加工システム研究開発機構が、それぞれ所管する事業を以下の通り実施した。

##### ① 総合企画委員会

新規入会について審議し、その結果を理事会に上程したほか、2018年度会員懇談会（福岡県）並びにJIMTOF・Tokyo 2018工作機械国際懇親パーティーの企画・立案に当たった。

##### ② 技術委員会

研究開発部会、標準化部会が中心となり、「IoTを活用したものづくりに関する情報収集」、「Additive Manufacturing 技術動向調査」、「知的財産に関する調査研究」、「第18回工作機械国際技術者会議（18th IMEC）の開催」等、工作機械の技術振興に関する調査研究を幅広く実施した。

##### ③ 経営委員会

経営調査部会、税制部会、労務研究部会が中心となり、工作機械の各種経営指標について分析した「工作機械工業経営状況調査」、「工作機械工業収益状況集計」、「経営指標における海外同業種比較調査」を作成して公表した。また、平成31年度税制改正要望につい

て取りまとめたほか、「工作機械業界における働き方改革」についても報告書として取りまとめた。

#### ④ 市場調査委員会

工作機械の需要動向に関する調査分析の他、工作機械ユーザ等を対象としたメンテナンス講習会を大阪地区で開催した。また、設備投資促進に資する政府の予算措置に関する要望を取りまとめたほか、「工作機械産業の適正取引の推進と生産性・付加価値に向けた自主行動計画」についてフォローアップ調査を実施した。

#### ⑤ 国際委員会

アジアにおける工作機械の需要産業及び市場動向をテーマとして、同市場に積極的に展開している工作機械関連企業を対象とした市況ヒヤリング及び工場見学やこの分野に精通している専門家による講演等を通じて、日本製工作機械への潜在的ニーズを把握・分析した。また、2018年6月にはタイ製造業の現地調査を実施した他、「自動車の電動化(EV)における工作機械産業への影響と変化に関する調査報告書」をまとめた。

#### ⑥ 環境安全委員会

「工作機械産業の環境自主行動計画」の省エネ目標達成に向け、環境活動マニュアルの作成、環境活動状況診断書の内容見直し等、会員の環境活動を支援した。なお、2030年(2021年以降)の省エネ目標について見直し検討を行った。

また、省エネ推進に加え、労働安全衛生の取り組みとして、「働き方改革」をテーマとした講演会を開催するなど、会員企業の環境・安全活動の啓発に努めた。

#### ⑦ 見本市委員会

JIMTOF・Tokyo 2018の盛会と円滑なる運営を期して、諸準備に当たったほか、企画展示の演出について検討した。その結果、同展の来場者数は、完全登録制を採用した1996年以降で最高となる153,103人(前回比3.7%増)となった。海外来場者数も同じく最高の12,792人となり、国際化の面でも大いに前進した。また、今回の問題点を踏まえ、次回JIMTOF・Tokyo 2020への改善案を取りまとめた。

#### ⑧ 輸出管理委員会

輪郭制御回転軸と割り出しの考え方等について経済産業省と協議を図った。また、「工作機械の輸出管理講習会」を金沢、名古屋、大阪、岡山、東京の5都市で開催し、工作機械の輸出管理制度の仕組みや、同制度に基づく社内審査の在り方について説明し、輸出管理に関する業界内の理解向上に努めた。

この他、新たな取り組みとして工作機械業界各社の輸出管理に対する支援業務(コンサルティング業務)を試験的に開始し、3社への支援を行った。また、米国のエマージングテクノロジー規制の案に対してパブリックコメントを取りまとめ提出した。

#### ⑨ 選考委員会

第40回理事会において設置された選考委員会は、次期役員候補と会長候補の推薦について、3回にわたり鋭意検討を重ねた。その結果、次期会長候補として飯村幸生氏（東芝機械(株)・取締役会長）が推薦され、次期役員候補審議結果とともに、第41回理事会において報告・了承された。

#### ⑩ 人材確保・周知研究会

有意な人材の確保・育成のために必要な業界活動等を検討する人材確保・周知研究会では、工作機械トップセミナーや工作機械基礎講座の企画・立案を行い、所要の事業を積極的に実施し、学生に対する業界PRや若手エンジニアの育成に努めた。JIMTOF会期中に開催した工作機械トップセミナーでは全国109の大学、高専・工業高校から、過去最高となる686名の参加者を得た。

#### ⑪ 加工システム研究開発機構

「工作機械産業ビジョン2020」のフォローアップとして、「新構造材料適用省エネ型工作機械研究開発」、「工作精度試験方法通則の国際標準化」に関する事業を実施した。

### (4) その他

#### ① 委託事業

- (イ) JIS原案作成事業（(一財)日本規格協会）
- (ロ) 国際幹事等国際会議派遣事業（(株)三菱総合研究所）

#### ② 補助事業

- (イ) 新構造材料適用省エネ型工作機械研究開発事業  
（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）
- (ロ) 国際工作機械技術者会議（IMEC）の開催（(公財)JKA）
- (ハ) 工作機械の輸出管理講習会の開催（(公財)JKA）

#### ③ 国際交流

主として下記展示会等で海外工業会と会合を行い、友好増進に努めた。

- (イ) SIMTOS 2018・2018年日韓工作機械工業会協議会（2018年4月・韓国 ソウル市）
- (ロ) CCMT 2018（2018年4月・中国 上海市）
- (ハ) METALLOBRABOTKA 2018（2018年5月・ロシア モスクワ市）
- (ニ) IMTS 2018（2018年9月・米国 シカゴ市）
- (ホ) JIMTOF・Tokyo 2018（2018年11月・東京）
- (ヘ) TMTS 2018（2018年11月・台湾 台中市）
- (ト) IMTEX 2019（2019年1月・インド バンガロール市）
- (チ) TIMTOS 2019（2019年3月・台湾 台北市）